

授業科目 微生物学	担当講師名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前 / 後
				1年次/前期
講義のねらい	1 微生物の特徴と、生体に及ぼす影響を理解し、形態、対処方法を学ぶ。			
授業形態	講義・演習			
講義内容	<p>1 感染症の成り立ち</p> <p>1) 微生物の概念と分類</p> <p>2) 感染</p> <p>(1) 顕性感染と不顕性感染</p> <p>(2) 日和見感染</p> <p>(3) 常在細菌と菌交代症</p> <p>3) 感染発病に関与する生体側・病原体側因子</p> <p>4) 感染症の予防及び感染症</p> <p>2 滅菌と消毒</p> <p>1) 滅菌方法と消毒方法</p> <p>2) 感染性廃棄物の処理</p> <p>3 感染症の流行現象</p> <p>1) 新興感染症</p> <p>2) 再興感染症</p> <p>3) 伝染経路に対する予防処置</p> <p>4) 個人的予防法</p> <p>5) 集団的予防法</p> <p>(1) 院内感染とその予防</p> <p>4 免疫</p> <p>1) 免疫とは</p> <p>2) 抗原と抗体</p> <p>3) 血清反応</p> <p>4) ツベルクリン反応</p> <p>5) 過敏症</p> <p>6) 感染防御免疫</p> <p>7) 予防接種</p> <p>5 病原体と疾患細菌学各論</p> <p>1) 細菌学、真菌学、原虫学</p> <p>2) 臨床ウイルス学</p>			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進 ④ (医学書院)			
参考文献	3 必要に応じ資料を配付する。			
評価方法	終講試験 100 点			
備考欄	講師とのコンタクトについては授業終了後又は終講時に案内する。			